

## 2023 年度 授業評価（授業アンケート）結果報告

### 1、授業評価実施の経緯

- 2003～2006 北辰図書によるアンケートを導入、4年間継続
- 2007～2008 全教員による手作りアンケート方式実施
- 2009～2013 再び北辰図書によるアンケートに戻して、以後5年間継続
- 2014～2019 代々木ゼミナール教育総合研究所に変更して6年間実施
- 2020 6月中旬までオンライン授業を行ったため、実施を断念
- 2021～ 代々木ゼミナール教育総合研究所によるアンケート再開3年目

### 2. 授業評価の特徴

- 質問項目の内容・意図が明確であり、生徒が評価しやすく、また教員の立場からも改善につなげやすい。
- 分析後に代ゼミから講師が派遣されて、全体の場で評価の読取り方や今後の改善方法、授業力向上策などが指摘され、事後の授業づくりの参考になる。それ以外にも、講師から年に数回メールにて授業改善・生徒指導への提言を紹介してくれる。

### 3. 授業評価の質問一覧

〈2023年度の質問項目＝教壇系〉

| 番号 | 項目    | 質問内容                            |
|----|-------|---------------------------------|
| 1  | 板書や資料 | 板書やプリント ICTなどの教具は、授業の理解に役立っている。 |
| 2  | 指示と説明 | 先生の説明はよくわかり、指示にとまどうことはない。       |
| 3  | 理解確認  | 先生は、生徒の理解を確かめながら授業を進めてくれる。      |
| 4  | 対話の効果 | 授業中の話し合いや周りとの協働を通して、学びが深められる。   |
| 5  | 目標理解  | 先生は、達成すべき目標やポイントをはっきり示してくれる。    |
| 6  | 活用機会  | 授業で理解したことを使って自分で考える機会が整えられている。  |
| 7  | 学習効果  | 授業を受けて、学力や技能の向上を実感できた。          |
| 8  | 進み方   | 授業の進み方、(授業で扱う分量) はあなたにとってどうですか。 |
| 9  | 難易度   | 教材や課題の難易度はあなたにとってどうですか。         |
| 10 | 学習方法  | あなた自身、この科目の学び方や取り組み方が身についてきた。   |

〈2023年度の質問項目＝実技系〉

| 番号 | 項目     | 質問内容                            |
|----|--------|---------------------------------|
| 1  | ポイント説明 | 先生の説明を通じて、練習や作業のポイントがよくわかる。     |
| 2  | 行動指示   | 授業中の約束事や先生の指示は明確で、戸惑わずに行動できる。   |
| 3  | 生徒理解   | 先生は生徒の状況をよく把握しながら授業を進めてくれる。     |
| 4  | 表現の場   | 展示や発表・試合など、自分の取組の成果を表現できる機会がある。 |
| 5  | 目標理解   | 振り返りや先生からの助言を通じ、次に向けた課題が意識できる。  |
| 6  | 振り返り   | 授業を受けて、知識や技能が身につき、自分の進歩を実感できる   |
| 7  | 学習効果   | 授業を受けて、学力や技能の向上を実感できる。          |
| 8  | 進み方    | 授業の進み方、(授業で扱う分量) はあなたにとってどうですか。 |
| 9  | 難易度    | 課題や練習の難易度はあなたにとってどうですか。         |
| 10 | 興味関心   | 授業を通してこの科目への興味関心が高まった。          |

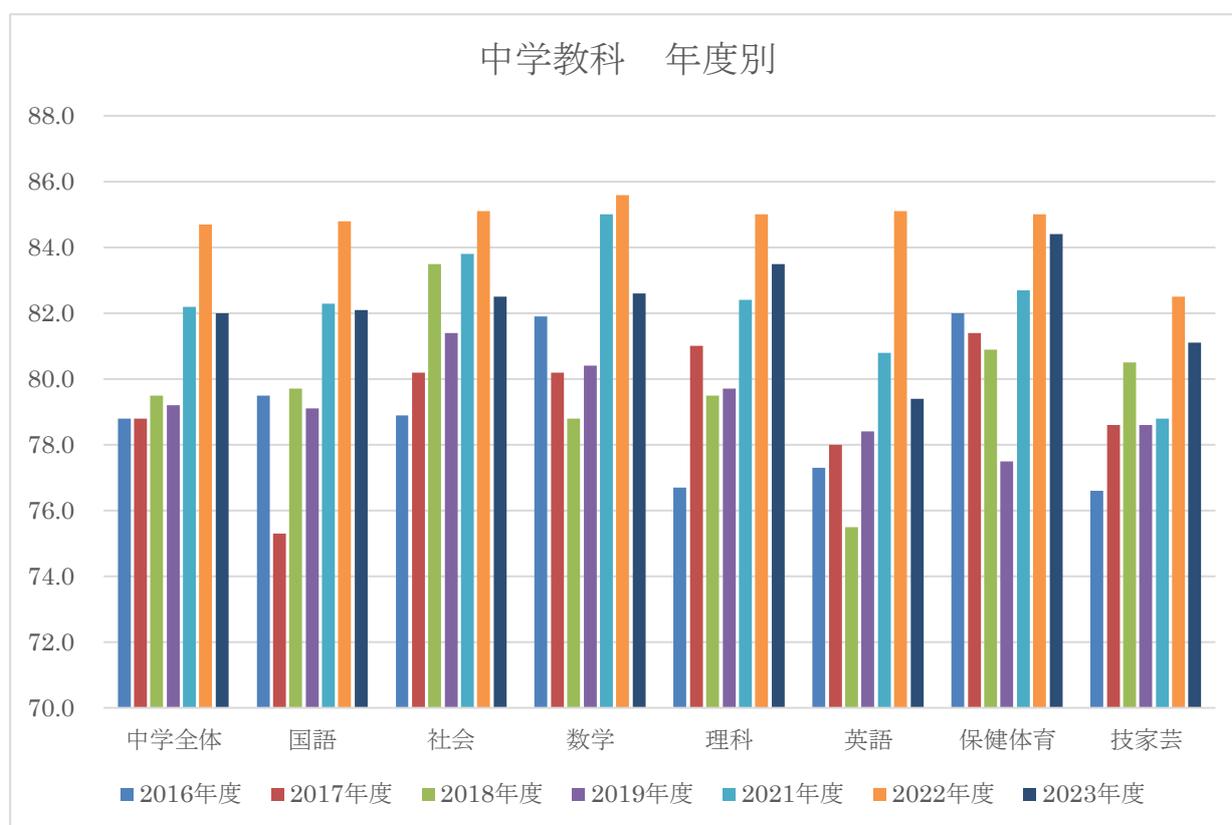
- 2019 年度に ICT 教育など教育方法の改善のなかで質問項目を変更したが、以後は連続性を重視して、今年度の質問項目は昨年度以前と同じ質問項目・内容で実施している。
- 質問 1～7 の項目に関しては、A「非常によくあてはまる」、B「よく当てはまる」、C「どちらかといえば当てはまる」、D「あまり当てはまらない」、E「当てはまらない」の 5 段階で評価する。
- 上記の 7 項目は A=10、B=8、C=6、D=4、E=2 という得点がつけられ、最終的に 100 点満点に換算した得点率で示される。高いほうが、高評価となる。
- 質問 8 は、A「速すぎる」、B「やや速い」、C「ちょうどよい」、D「やや遅い」、E「遅すぎる」の 5 段階で評価する。
- 質問 9 は、A「難すぎる」、B「やや難しい」、C「ちょうどよい」、D「やや易しい」、E「易すぎる」の 5 段階で評価する。
- 質問 10 は、A「強く思う」、B「そう思う」、C「少し思う」、D「あまり思わない」、E「まったく思わない」の 5 段階で評価、得意方向か苦手方向かを明確に示す。
- 質問 8～10 は、A=+10、B=+5、C=0、D=-5、E=-10 の平均数値で示される。質問 8・9 は 0 が理想的ではなく、若干「速い」・「難しい」によった+1～2 程度の評価が好ましいと判断される。
- 生徒は上記アンケート項目以外にも、教員に対する記名式でコメントを記入することができる。コメントは生徒から回収後に、教科主任が直接担当教員に送信している。
- アンケートは、例年同様に 7 月上旬に実施した。今年度はマークシートの形式からパソコン上で回答フォームから回答を選択する形式に変更した。

#### 4、アンケート実施後の対応

- 今年度は、8 月 24 日（木）に授業評価検討会を実施した。
- 講師より全体概評、評価点、課題、改善方法などが紹介され、その後質疑応答を実施して内容を深めた。
- 講師からの講演後に、教科を超えた 4 人 1 組の小グループを作り授業に関する悩みとその解決方法を互いに検討した。その後に教科会、学年会を開催した。教科会は 2 部構成とし、前半は今回の授業評価から見えてくる各教科の課題を、後半は 6 月に行った校内での研究授業の振り返りを実施した。学年会においては、授業担当者を交えてそれぞれの学年のクラスや生徒情報の共有を行っている。

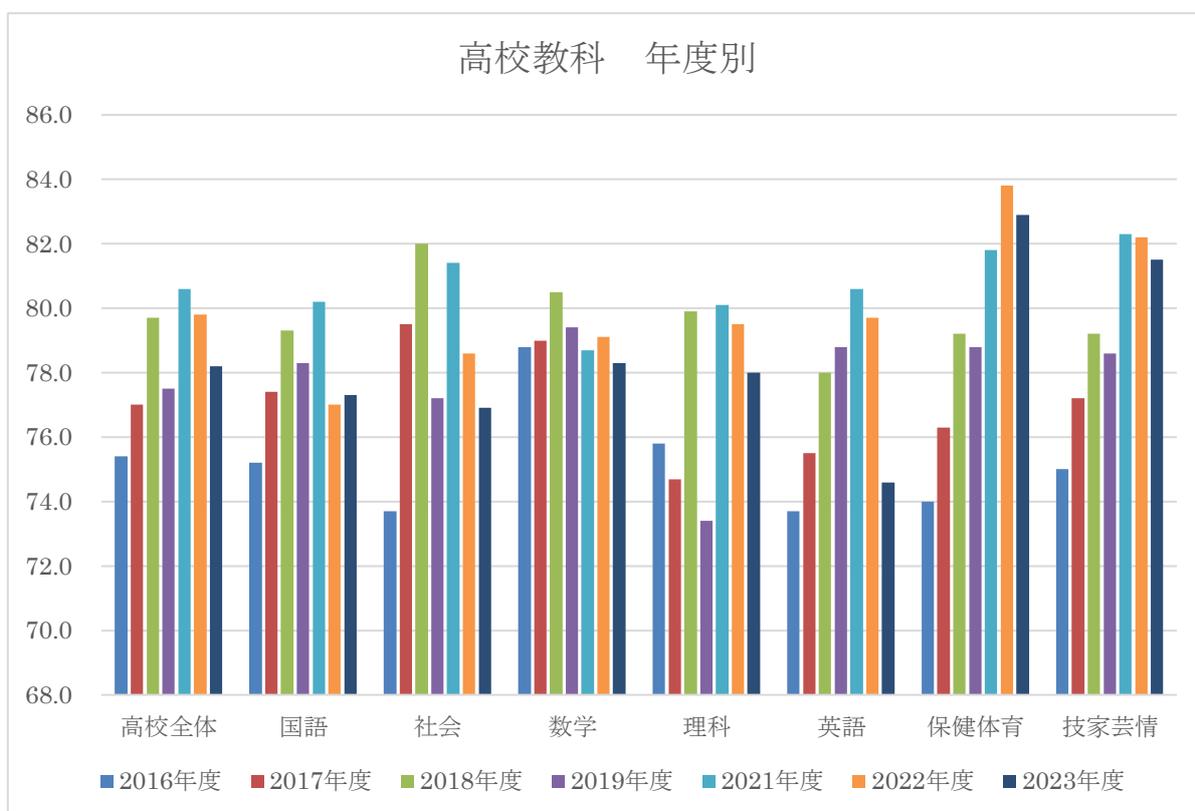
## 5、教科別の総合評価

〈中学校〉



|        | 中学全体 | 国語   | 社会   | 数学   | 理科   | 英語   | 保健体育 | 技家芸  |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2016年度 | 78.8 | 79.5 | 78.9 | 81.9 | 76.7 | 77.3 | 82.0 | 76.6 |
| 2017年度 | 78.8 | 75.3 | 80.2 | 80.2 | 81.0 | 78.0 | 81.4 | 78.6 |
| 2018年度 | 79.5 | 79.7 | 83.5 | 78.8 | 79.5 | 75.5 | 80.9 | 80.5 |
| 2019年度 | 79.2 | 79.1 | 81.4 | 80.4 | 79.7 | 78.4 | 77.5 | 78.6 |
| 2021年度 | 82.2 | 82.3 | 83.8 | 85.0 | 82.4 | 80.8 | 82.7 | 78.8 |
| 2022年度 | 84.7 | 84.8 | 85.1 | 85.6 | 85.0 | 85.1 | 85.0 | 82.5 |
| 2023年度 | 82.0 | 82.1 | 82.5 | 82.6 | 83.5 | 79.4 | 84.4 | 81.1 |

〈高等学校〉



|        | 高校全体 | 国語   | 社会   | 数学   | 理科   | 英語   | 保健体育 | 技家芸情 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2016年度 | 75.4 | 75.2 | 73.7 | 78.8 | 75.8 | 73.7 | 74.0 | 75.0 |
| 2017年度 | 77.0 | 77.4 | 79.5 | 79.0 | 74.7 | 75.5 | 76.3 | 77.2 |
| 2018年度 | 79.7 | 79.3 | 82.0 | 80.5 | 79.9 | 78.0 | 79.2 | 79.2 |
| 2019年度 | 77.5 | 78.3 | 77.2 | 79.4 | 73.4 | 78.8 | 78.8 | 78.6 |
| 2021年度 | 80.6 | 80.2 | 81.4 | 78.7 | 80.1 | 80.6 | 81.8 | 82.3 |
| 2022年度 | 79.8 | 77.0 | 78.6 | 79.1 | 79.5 | 79.7 | 83.8 | 82.2 |
| 2023年度 | 78.2 | 77.3 | 76.9 | 78.3 | 78.0 | 74.6 | 82.9 | 81.5 |

## 6、質問項目ごとの評価

例年通り最初の7項目に関して、中学校・高等学校別に、学年別で示して考察をする。

〈中学校=2023年度〉

| 教壇系  | 板書・資料 | 指示・説明 | 理解確認 | 対話の効果 | 目標理解 | 活用機会 | 学習効果 |
|------|-------|-------|------|-------|------|------|------|
| 中学全体 | 85.9  | 81.5  | 81.1 | 80.4  | 80.9 | 81.4 | 79.1 |
| 中学1年 | 86.5  | 81.0  | 81.5 | 81.1  | 80.9 | 81.4 | 79.0 |
| 中学2年 | 85.2  | 81.7  | 80.2 | 80.6  | 80.0 | 80.6 | 78.0 |
| 中学3年 | 86.0  | 81.9  | 81.4 | 79.6  | 81.7 | 82.1 | 80.1 |

| 実技系  | 説明   | 行動指示 | 生徒理解 | 表現の場 | 目標理解 | 振り返り | 学習効果 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 中学全体 | 84.1 | 82.2 | 80.9 | 80.9 | 83.4 | 79.9 | 80.2 |
| 中学1年 | 83.9 | 81.4 | 79.8 | 76.5 | 81.9 | 78.1 | 78.9 |
| 中学2年 | 84.4 | 82.1 | 81.8 | 84.0 | 84.4 | 81.5 | 81.0 |
| 中学3年 | 83.9 | 83.1 | 81.5 | 83.3 | 84.3 | 80.7 | 81.1 |

〈中学校=2022年度〉

| 教壇系  | 板書・資料 | 指示・説明 | 理解確認 | 対話の効果 | 目標理解 | 活用機会 | 学習効果 |
|------|-------|-------|------|-------|------|------|------|
| 中学全体 | 89.8  | 85.5  | 83.7 | 82.7  | 83.5 | 83.6 | 82.5 |
| 中学1年 | 90.4  | 85.0  | 83.1 | 81.3  | 82.7 | 82.4 | 82.1 |
| 中学2年 | 90.2  | 86.3  | 84.8 | 84.0  | 84.7 | 85.0 | 84.4 |
| 中学3年 | 88.7  | 85.3  | 83.2 | 82.9  | 83.0 | 83.5 | 80.8 |

| 実技系  | 説明   | 行動指示 | 生徒理解 | 表現の場 | 目標理解 | 振り返り | 学習効果 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 中学全体 | 83.6 | 83.2 | 81.3 | 81.7 | 84.5 | 80.2 | 80.9 |
| 中学1年 | 85.8 | 84.2 | 82.5 | 81.5 | 85.6 | 80.8 | 82.7 |
| 中学2年 | 80.1 | 79.7 | 77.6 | 80.1 | 81.5 | 78.0 | 78.4 |
| 中学3年 | 84.7 | 86.2 | 83.9 | 83.9 | 86.3 | 82.1 | 81.2 |

〈中学校=2021年度〉

| 教壇系  | 板書・資料 | 指示・説明 | 理解確認 | 対話の効果 | 目標理解 | 活用機会 | 学習効果 |
|------|-------|-------|------|-------|------|------|------|
| 中学全体 | 89.4  | 85.0  | 82.6 | 78.8  | 82.4 | 81.7 | 81.7 |
| 中学1年 | 92.4  | 86.3  | 84.8 | 79.2  | 84.2 | 82.9 | 84.0 |
| 中学2年 | 87.2  | 83.8  | 80.8 | 77.3  | 80.8 | 80.6 | 80.3 |
| 中学3年 | 87.9  | 84.5  | 81.6 | 79.7  | 81.8 | 81.2 | 80.4 |

| 実技系  | 説明   | 行動指示 | 生徒理解 | 表現の場 | 目標理解 | 振り返り | 学習効果 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 中学全体 | 83.0 | 81.5 | 79.3 | 78.4 | 82.5 | 77.5 | 78.7 |
| 中学1年 | 86.2 | 83.7 | 81.2 | 77.6 | 84.9 | 79.0 | 81.4 |
| 中学2年 | 77.7 | 77.3 | 74.9 | 77.2 | 78.2 | 74.4 | 74.5 |
| 中学3年 | 83.7 | 82.5 | 81.1 | 80.7 | 83.5 | 78.4 | 79.1 |

〈高等学校＝2023年度〉

| 教壇系  | 板書・資料 | 指示・説明 | 理解確認 | 対話の効果 | 目標理解 | 活用機会 | 学習効果 |
|------|-------|-------|------|-------|------|------|------|
| 高校全体 | 80.8  | 78.6  | 76.2 | 75.0  | 76.9 | 78.6 | 73.3 |
| 高校1年 | 83.0  | 80.1  | 77.0 | 75.5  | 78.8 | 79.4 | 75.5 |
| 高校2年 | 80.3  | 78.0  | 75.4 | 76.1  | 75.9 | 78.6 | 72.1 |
| 高校3年 | 78.3  | 77.4  | 76.2 | 72.6  | 75.7 | 77.4 | 71.7 |

| 実技系  | 説明   | 行動指示 | 生徒理解 | 表現の場 | 目標理解 | 振り返り | 学習効果 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 高校全体 | 84.9 | 84.4 | 81.5 | 79.5 | 82.4 | 79.1 | 79.6 |
| 高校1年 | 85.0 | 84.2 | 81.0 | 80.7 | 82.8 | 79.7 | 80.5 |
| 高校2年 | 84.7 | 84.6 | 82.3 | 77.8 | 81.7 | 78.3 | 78.1 |

〈高等学校＝2022年度〉

| 教壇系  | 板書・資料 | 指示・説明 | 理解確認 | 対話の効果 | 目標理解 | 活用機会  | 学習効果 |
|------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|
| 高校全体 | 83.2  | 80.7  | 78.4 | 75.2  | 78.2 | 80.2  | 75.5 |
| 高校1年 | 85.2  | 81.6  | 80.0 | 78.4  | 79.8 | 82.1  | 77.6 |
| 高校2年 | 81.2  | 78.8  | 76.7 | 83.6  | 76.1 | 77.4  | 72.8 |
| 高校3年 | 82.7  | 81.6  | 78.0 | 72.3  | 78.3 | 80.98 | 76.4 |

| 実技系  | 説明   | 行動指示 | 生徒理解 | 表現の場 | 目標理解 | 振り返り | 学習効果 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 高校全体 | 87.1 | 85.7 | 82.6 | 79.5 | 82.7 | 79.6 | 79.2 |
| 高校1年 | 88.1 | 86.6 | 83.6 | 81.2 | 84.6 | 81.2 | 80.4 |
| 高校2年 | 85.5 | 84.3 | 81.1 | 76.8 | 79.8 | 77.3 | 77.4 |

〈高等学校＝2021年度〉

| 教壇系  | 板書・資料 | 指示・説明 | 理解確認 | 対話の効果 | 目標理解 | 活用機会 | 学習効果 |
|------|-------|-------|------|-------|------|------|------|
| 高校全体 | 84.3  | 81.9  | 79.1 | 75.3  | 79.5 | 80.5 | 76.8 |
| 高校1年 | 81.9  | 78.3  | 75.3 | 71.8  | 76.2 | 77.5 | 73.9 |
| 高校2年 | 86.2  | 83.9  | 81.3 | 77.9  | 81.7 | 82.5 | 78.9 |
| 高校3年 | 85.2  | 84.2  | 81.6 | 76.9  | 81.4 | 82.3 | 78.2 |

| 実技系  | 説明   | 行動指示 | 生徒理解 | 表現の場 | 目標理解 | 振り返り | 学習効果 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 高校全体 | 85.3 | 83.8 | 80.3 | 76.9 | 80.3 | 77.0 | 77.8 |
| 高校1年 | 84.9 | 83.2 | 80.6 | 77.7 | 80.2 | 77.0 | 77.9 |
| 高校2年 | 85.9 | 84.6 | 79.9 | 75.9 | 80.3 | 77.0 | 77.8 |

## 7. 分析

- 「学習効果」の項目が昨年度と比較してどの学年においても下がっている状況である。分析を担当した講師からはどの学年でも高い評価を受けている授業があるのでそれを参考に「生徒の学習特性にマッチした学ばせ方」の実現を図るようにアドバイスをいただいた。
- 「学習効果」に寄与する項目は「活用機会」と「学習方法」であり、そのどちらかに課題を残したままでは深く確かな学びを実感できる授業には近づかないとのこと。
- 特に「どんな問いや課題を用意して、生徒にどう取り組ませるか」という部分を大切にすることが重要。
- 対話の効果においても、協働性や表現力を鍛える、課題を前に発動した思考を拡充する機会として対話の充実を図っていくことが必要。
- 生徒が、「自分の成長」を実感できる授業を実践し、先生からの助言頼りではなく、メタ認知・適応的学習力を向上させられるように振り返りから生徒自身が何かを見つけ出し、それを試行する場を用意することが重要。
- 全体や各教科の数値平均値においては、2022年度と比べてすべての教科で低下をしている。2020年度（アンケート未実施）、2021年度と比べると、2022年度は休校によるオンライン授業が無く、コロナ禍であったとはいえ対面の授業を1年通じて行うことができた。学校生活が戻ってきたために2022年度はアンケート結果がよりよく出ていたとするならば、2019年度と近い結果である2023年度は極端に授業が悪い方向に変化したとは言えないのではないか。
- 代ゼミ側の指標として各項目の目標ラインは72～75の間に設定されている。このことを考えると、全体としてはこの数値を十分に超えていると判断できる。アンケート結果を80以上にしていくためにはB「よく当てはまる」よりもA「非常によく当てはまる」を増やしていく必要がある。

以上